

第1回 文教厚生常任委員会

開催日 令和4年1月12日（火曜日）

開催場所 粕屋町役場 3F 31会議室

開催時間 9:30～12:00

出席者 議員 井上委員長・宮崎副委員長・本田委員・久我委員
田川委員・福永委員・古家委員

事務局 吉村主事

欠席者 なし

報告項目

町立保育所建て替えに関してその役割について、研修した。
演題「未就学児の保育における町立保育所の果たす役割について」
講師 西日本短期大学 保育学科 教授 富永明子氏
「粕屋町子ども子育て会議」会長（令和3年4月22日まで）

1 「保育所保育指針」について
平成30年に改訂され、保育所を教育施設と位置付け、幼児教育の必要性が明確になった。指針では、子どもの育ちのねらいが5領域で分かりやすく示されている。また、0歳児から3歳児の未就学児の保育が具体的に示されている。

子どもの健康および安全に配慮することも保育士の大切な仕事で、食物アレルギーへの対応も求められ、さらに、東日本大震災を教訓に危機管理体制づくりも推進された。

地域の子育てをしっかりと支援する事も明記され、0歳児保育や一時保育の需要が増え、多様なニーズへの対応も求められている。

職員のキャリアアップのための体制づくりに組織的に取り組むことも明記されている。

その他、保育士の処遇改善、人材確保に向けた対策や保育士の悩みをどう受け止め解決するかなどもお聞きした。

粕屋町に対して町民が期待していることは、安定した質の保育の提供や偏りのない保育方針であるということである。町に対する満足度は高いが、今後の子育ての課題として、働く母親が増え、子育ての男女共同参画の必要性や家庭の孤立化がある。

<p>報告項目</p>	<p>講演の中で</p> <ul style="list-style-type: none">・保育士への保護者相談やその対応については。・若い保育士の研修の場やベテラン保育士がスキルアップをする研修の場は、どこにあるのか。・保育士の年収の水準について私立の基準はあるのか。・保育士の質を上げる具体的な取り組みは。・将来、子どもが減った時の保育施設の利用の方法は。 <p>など、質問があった。</p> <p>多くの課題を示唆していただき、委員会として、今後調査・研究を進める。</p>
-------------	--